

令和4年度 全国公立学校教頭会の調査～全国と大分県の比較～の分析

1. 全国と大分県の比較

[団体調査]

全国の「事務職員の配置」はほとんどの都道府県が国の法律に則って配置しています。また、自治体ごとに、国の政策を補う形で事務職員を配置する等の政策を実施しています。

全国の小中学校の中で、事務職員が配置され、教頭が事務職を兼務していない学校は97～98%です。

大分県では、事務職を兼務している学校は、小学校76校、中学校37校、合計113校です。

教頭が事務職を兼務している状況は、平成22年度から12年間続いています。

この原因は大分県教育委員会が策定・実施している「事務職員等配置基準」にあります。

大分県公立学校教頭会は、全国の平均水準の教育行政が大分県でも行われることを願っています。

学校業務が多様化・複雑化している中で、学校における副校長・教頭の役割はますます重要になっています。

副校長・教頭本来の業務への専念また働き方改革の視点からも、事務職員の全校配置を願っています。

[個人調査]

(1) 兼務している職務について

① 「兼務していない」と回答 全国小97%、全国中98%です。大分小は75%、大分中は88%です。

② 「事務職を兼務している」と回答 全国小中ともに1%、大分小は20%、大分中は12%です。

③ 事務職を兼務している学校数は、

小学校：福島県(11校)、鹿児島県(8校)、岡山県(4校)、山口県(4校)、大分県(76校)

中学校：福島県(5校)、北海道(5校)、新潟県(4校)、宮崎県(3校)、大分県(37校)です。

大分県は、事務職を兼務している学校数が他県に比較して桁違いに多く、突出しています。

(2) 学校事務職員の配置について

① 「正規職員」の配置は、全国小は95%、大分小は37%、全国中は96%、大分中は52%です。

② 非常勤職員の配置は、全国小は3%、大分小は28%、全国中は2%、大分中は20%です。

③ 「事務職員の配置なし」は、全国小中とも2%、大分小が33%、大分中が28%です。

(3) 配置を期待する教職員について

① 全国小は、「専科教員」「少人数指導担当」「特別支援教育担当」です。

② 全国中は、「特別支援教育担当」「ICT支援員」「部活動外部指導員」です。

③ 大分小は、「専科教員」「主幹教諭」「事務職員」で、3位に事務職員が入っています。

④ 大分中は「ICT支援員」「事務職員」「副担任」で、2位に事務職員が入っています。

2. 要請活動

大分県公立学校教頭会は兼務による教頭の負担の実態の把握と改善に向けた取組を平成21年度から大分県教育庁義務教育課に要望してまいりましたが、平成28年度まで実態把握も負担の改善も全く行われませんでした。

大分県公立学校教頭会は平成29年度から「事務職員等配置基準」に直接の権限を有する大分県教育庁教育人事課に要請を継続して行っています。

大分県公立学校教頭会は令和5年度も大分県教育委員会に「県の基準ではなく、国の基準に則って学校事務職員を配置」するよう要請していきます。

また、郡市地区教頭会は市町村教育委員会教育長に次のように要望していきます。

「学校支援センター連絡協議会において、事務職員未配置校へ週1日～週2日、ひと月に4日～8日、学校事務職員に来校していただきますよう、学校支援センターへのご指導をお願いいたします。」

3. 過労死ライン

独立行政法人労働政策研究・研修機構によると、ひと月の超過勤務時間が100時間を超えるか、事故前の6ヶ月の労働時間の平均が80時間を超えると「過労死ライン」と呼ぶようです。

大分県の中で1日の勤務時間の長い教頭は下の表の通りです。

年度	学校種別	1日の勤務時間			合計 人	割合 %
		13時間以上(人)	14時間以上(人)	15時間以上(人)		
平成 28	小学校	73	24	7	104	38
	中学校	42	19	10	71	55
29	小学校	49	15	4	68	26
	中学校	32	20	9	61	48
30	小学校	38	12	1	51	19
	中学校	38	15	5	58	45
令和 元	小学校	53	11	3	67	29
	中学校	23	21	4	48	42
2	小学校	16	2	1	19	9
	中学校	19	3	1	23	23
3	小学校	27	10	1	38	16
	中学校	26	8	0	34	30
4	小学校	40	8	0	48	23
	中学校	33	21	1	55	61

全国公立学校教頭会の調査(平成28年度～令和4年度版)

1日の勤務時間が15時間を超える副校長・教頭は、ひと月の勤務時間が100時間を超えています。

これに該当する副校長・教頭は令和4年度調査では中学校が1名と減少傾向となっています。

しかし、13時間以上勤務する副校長・教頭は73名と昨年に比べて増加しています。

このことは過労死防止の観点から注意することが必要です。

4. 事務職員等配置基準

令和4年1月、大分県教育庁教育人事課は令和4年度の「事務職員等配置基準」を出しました。その結果、令和年度の事務職員未配置校は113校になりました。見直しにより未配置校は5校減りました。

大分県公立学校教頭会が要望しているのは、県の基準ではなく、国の基準に則った学校事務職員の配置です。

※ 全国公立学校教頭会の調査へご協力ください。

令和5年度も7月に、全国公立学校教頭会の調査を実施します。

全国そして大分県の副校長・教頭の勤務状況の実態を知り、大分県公立学校教頭会の活動にいかしていくために、次年度も会員全員の参加をお願いします。